



ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 6 月 第 38 号

平山小学校の皆さん、こんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

今日はナミビアの小学校での面白い登校日のことを紹介したいと思います。エロンゴサ小学校では、毎月、月末の金曜日が「シヴィス デイ (Civvies Day)」と呼ばれています。「Civvies」とは、軍服 (軍隊の制服) に対する、平服を意味する英単語です。つまり、「Civvies Day」とは私服で登校してよい日という意味です。ナミビアでは小学校から制服がある学校が多く、エロンゴサ小学校の子どもたちも、毎日、基本的に制服または体操服 (体育がある日) で登校しています。しかし、この月末の金曜日だけは私服で登校することが許されるのです。もちろん制服や体操服で登校してもよいことになっています。

私服の日「シヴィスデイ (Civvies Day)」

お金を払って私服登校！？

ただ私服で登校してよい日と思いきや、そうではありません。この日は、1人5ナミビアドルを学校に支払って私服登校をすることになっています。ちなみに2023年までは3ナミビアドルでしたが、2024年から学校の資金調達のために5ナミビアドルに引き上げられました。お金を払わない代わりに制服で来る子もありますが、私服で来たのにお金を払わない子もいます。しかし、この5ナミビアドルの支払いは学校が強制してはいけないことになっているようで、もしもお金を忘れたり、払えなかったりしても、先生方は何も言いません。「5ナミビアドルは払えないから3ナミビアドルだけ払う」などのパターンもあります。そんな曖昧なルールでは、誰も払わなくなるのではないかと思いましたが、意外にも半数程度の子もたちが毎回払っています。誰が払ったかについては先生方が名簿でチェックしています。



↑お金を集めている様子



↑普段着ている制服やジャージ

ここで集まったお金は、学校の消耗品 (トイレトーパー、掃除用品など) を購入するのに使われます。ナミビアの公立学校は、学校の児童数によって政府からお金を支給されますが、それだけでは足りないため、このCivvies Dayのお金や、学校が主催するイベントの入場料として集めたお金、保護者や地域の方々、様々な団体からの寄付金など、色々な機会を活用してお金を集めています。

おしゃれが大好きな子どもたち

1か月に1度の私服登校日なので、自分の着たい服、履きたい靴やサンダル、サングラス、帽子、アクセサリ、バッグなど、お気に入りのものを身に付けてきます。ビニール袋で自作したおしゃれなワンピースを着ている子も見つたことがあります。



↑私服を着て学校へ来る子どもたち↑

シヴィスデイは特に混み合うタックショップ

毎日の休み時間に、タックショップと呼ばれる売店のようなものが開かれます。ここでは、先生が1ナミビアドルほどのお菓子を売っています。毎日ここでお菓子を買う子がたくさんいるのですが、このシヴィスデイには特に多くの子どもたちがタックショップにお菓子を買いに来ます。いつもは1ナミビアドルや5ナミビアドルくらいの買い物をする子がほとんどですが、この日は10ドルで10個も買う子や、それ以上のお金を使う子もいます。なぜこの日に皆こんなにたくさんお金を使うのだと思いますか？



↑タックショップの様子



↑販売しているお菓子（ファイヤーボールと呼ばれるスナック菓子やチューイングキャンディーなど）

同僚の先生に聞いてみたところ、ナミビアではほとんどの仕事において給料が月末にもらえるそうです。シヴィスデイは月末の金曜日なので、お家の人の給料日と重なり、いつもよりお金に余裕があることから、たくさん買い物をする人が多いようです。確かにスーパーも月末の金曜日は混んでいる印象です。

シヴィスデイだけの特別メニュー

この日は、いつもタックショップを管理してくれている先生が、ホットドックやサンドイッチなどの特別なメニューを販売することがあります。値段は20ナミビアドル（約160円）で、1週間前から告知し、買いたい人からお金を集めます。多い時は200個を超える購入希望があるため、販売前日の放課後、この先生は大忙しです。私も手伝いに行くことがありますが、大変な作業です。大量の食材を仕入れることから始まり、1つずつ手作業でパンを切ってバターを塗ってソースを作って...この先生の努力に、学校は金銭面でかなり支えられていそうです。



↑ホットドックを食べる子どもたち↑